名古屋市立若葉中学校

学校だより

令和７年３月６日発行

雨水の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日ごろは、本校教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

３月４日に、生徒会が企画した「３年生を送る会」が開催されました。３学年全員が揃う最後の行事で、互いに感謝の思いを伝え合うことができました。明日の卒業式も、きっとすばらしい式になると期待しています。

学校重点目標「伝えよう 深めよう」～自分で目標を調整し、自分なりの挑戦をする～

本年度、若葉中学校では生徒の目標調整や挑戦を支援し、「伝える力、深める力」を高められるようにするため、「指導の個別化」「学習の個性化」「ゆるやかな協働を意識した、多様な他者との学び合い」の三つの柱を重視した学校教育に取り組みました。

以下は、三つの柱についての「学校教育に関するアンケート」の結果です。

○　「指導の個別化」に関するアンケート項目

項目４「教職員は授業の分からない生徒に丁寧に教えている。」

「思う・やや思う」の割合…生徒：92%　　保護者：76%↓　教職員：82%

項目６「授業では、生徒自身のペースで学習する時間がある。」

「思う・やや思う」の割合…生徒：79%↓　保護者：68%　　教職員：89%↑

○　「学習の個性化」に関するアンケート項目

項目２「生徒は目標を決めて計画的に学習に取り組んでいる。」

「思う・やや思う」の割合…生徒：81%↑　保護者：68%　　教職員：84%

項目10「生徒は将来の夢や目標に向かって、勉強や部活動に取り組んでいる。」

「思う・やや思う」の割合…生徒：78%　　保護者：68%↓　教職員：89%

○　「ゆるやかな協働を意識した、多様な他者との学び合い」に関するアンケート項目

項目１「授業では、皆で協力して作成・編集したり、異なる意見を出し合ってまとめたりする時間がある。」

「思う・やや思う」の割合…生徒：93%　　保護者：94%　　教職員：88%

項目７「生徒は学校行事などにおいて、仲間と協力しながら意欲的に取り組んでいる。」

「思う・やや思う」の割合…生徒：93%　　保護者：94%　　教職員：100%

※　↑は前年度比で５%以上増加、↓は前年度比で５%以上低下を示しています。

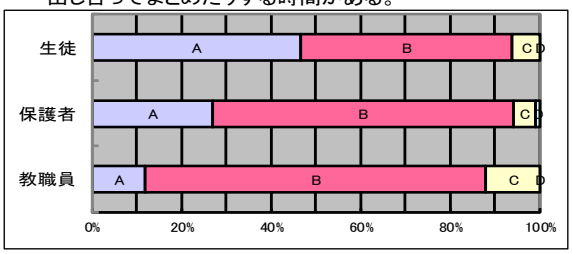
生徒アンケートの結果を踏まえると、重点目標の達成状況については、「おおむね満足できる」状況であると考えます。特に、項目２については、「思う・やや思う」と答えた生徒は約６％増加しました。教師が単元や授業の始めに課題や目標を提示し、生徒が学習の見通しをもって計画を立て、学習に取り組むことができるようになり、学びを深めることにつながったと考えています。しかし、項目６については、教職員の評価が増加した一方で、生徒の評価は低下しました。自分のペースで学習できる時間は設定したが、生徒自身がうまく自分のペースで学習することができなかったので、困っている生徒を適切に支援できるように授業改善を図っていく必要があると考えます。また、保護者と生徒・教職員間で結果に大きな差違がある項目もあったので、学校での取り組みを保護者の方にお伝えする機会を作っていく必要があると考えます。

生徒自身が見通しをもち、計画を立てながら、目標を調整して学習に取り組んだり、将来の夢や目標に向かって、様々なことに挑戦したりできるように、来年度に向けて授業や諸活動の改善を図っていきます。

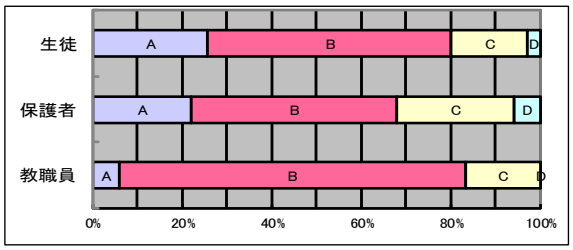
令和６年度　学校教育に関するアンケート

A. とても思う　B. やや思う　C. あまり思わない　D. 全く思わない　※E. 判断できないを除外して算出

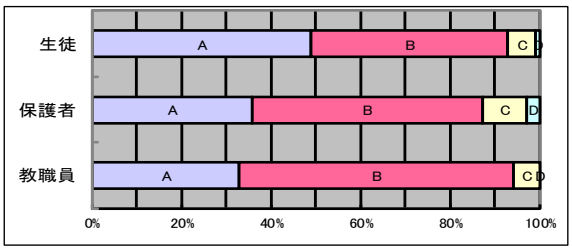
1　授業では、皆で協力して作成・編集したり、異なる意見を出し合ってまとめたりする時間がある。



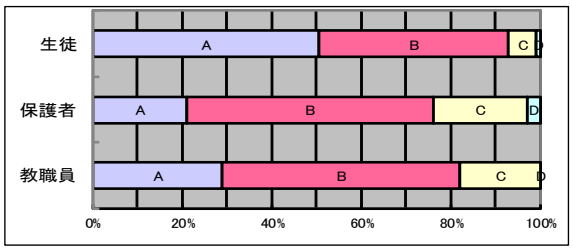
2　生徒は目標を決めて計画的に学習に取り組んでいる。



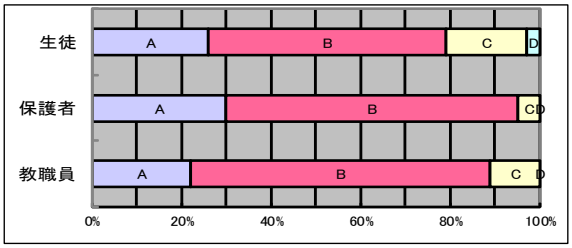
3　教職員は一人一人の気持ちを理解しようと努力している。



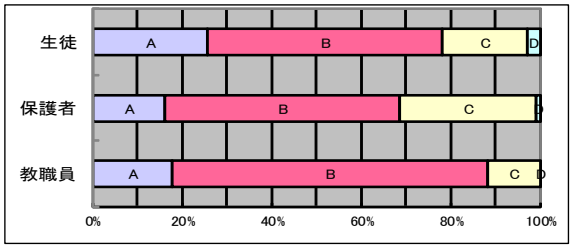
4　教職員は授業で分からない生徒に丁寧に教えている。



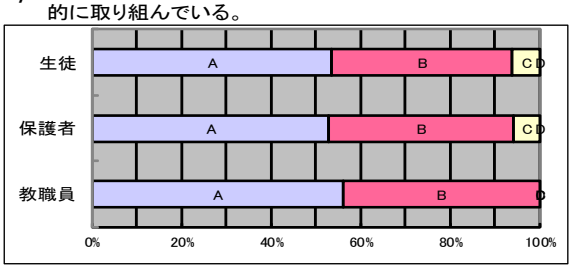
5　生徒(教職員)は校舎や教室の環境美化に努めている。



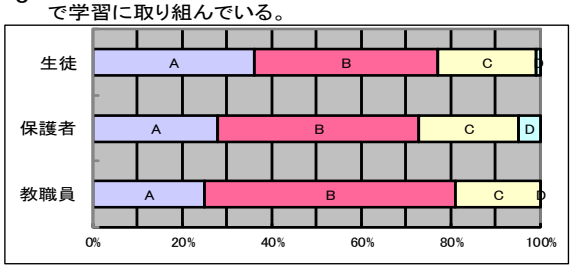
6　授業では、生徒自身のペースで学習する時間がある。



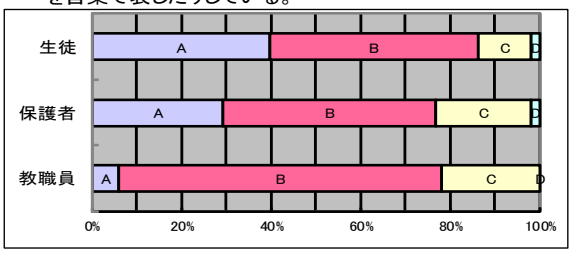
7　生徒は学校行事などにおいて、仲間と協力しながら意欲的に取り組んでいる。



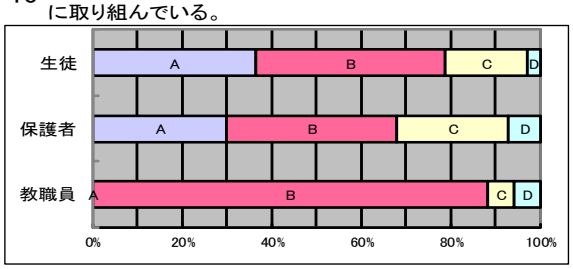
8　生徒は定期テスト・小テストや次の授業に向けて、家庭で学習に取り組んでいる。



9　生徒は地域や学校で元気よく挨拶したり、感謝の気持ちを言葉で表したりしている。



10　生徒は将来の夢や目標に向かって、勉強や部活動などに取り組んでいる。



学校関係者評価委員会（年間３回開催）では、次のようなご意見をいただきました

公開授業後の第２回（９月実施）では、「跳び箱がレベル別になっていてよかった。できるところから自信をつけてやっていけるといい。」「自分たちで参加する授業で楽しそうだった。」「友達と話せるタイミングがあるのでグループになるのはいい。」などのご意見を頂きました。

第３回（２月実施）では、「多様な他者との学び合いなど、授業を工夫していてよかった。」「合唱コンクールでは、９月の公開授業で見た授業の成果が出ていた。」「多くの生徒が自己肯定感が高いのは良いが、低い子にも丁寧に対応して欲しい。」「部活動の活動時間の減少などで勉強が苦手な子の活躍の場が減ってきて心配。」などのご意見を頂きました。

これらのご意見も参考にしながら次年度の学校運営にいかしていきたいと思います。